

社友会だより

第 38 号

発行 センツウ社友会
住所 神奈川県横浜市港南区芹が谷 4-27-19
〒233-0006 大和田輝彦 内
編集者 大場省平

* 平成 25 年度第 2 回役員会開催 *

- 開催日時 平成 25 年 7 月 5 日(金)14:00~16:00
○場所 (財)東京都中小企業振興公社秋葉原庁舎
会議室 東京都千代田区佐久間町 1-9
○出席者 首都圏在住役員 8 名(法安、菅原、崎山、
大和田、松原、濱田、平野、長谷川の
各役員)

1. 議題・議事

(1) 社友会「首都圏懇親会」の開催

- ①松原理事から、資料に基づき「首都圏懇親会」について説明があり、了承された。
②出欠連絡用ハガキの返信先は大和田事務局長とすることとした。

(2) 支部活動資金の取り扱い

- ①大和田事務局長から、支部活動支援金の現状(各支部に 1 万円を配分)について説明があり、支部では、支援金を地域総会の開催案内経費にも充当していることから、この支部活動支援金は地域のサークル活動等に活用できるよう、地域の総会や同窓の集い等の開催案内経費を本部経費とすることで了承された。

(3) 25 年度活動計画の実施状況

大和田事務局長から資料に基づき活動計画の実施状況の説明があった。

- ・春季ゴルフコンペ：濱田理事から 11 名の参加を得て開催した旨、報告があった。
- ・心の遺言書「エンディングノート」の書き方セミナー：菅原副会長から 5 名の参加を得て、聴講した旨、報告があった。なお、4 月 7 日には、「遺言セミナー」に 7 名が参加している。
- ・中部支部懇親旅行：本田副会長から下呂温泉で 17 名の参加を得て、開催したとの報告があり、事務局がその旨を披露した。

(4) その他

- ①事務局から 24 年度以前の会費の未納状況、会員の入退会状況等について説明があった。
②菅原副会長から、年金法が改正されたにつき心配をしている会員もいるので「我々が加入している厚生年金基金」の現状を調査し、会員の皆さんにお知らせしてはどうかとの提案があり、菅原副会長と大和田事務局長が基金事務局を訪問して、現状確認を行うこととし、その結果を会員に周知することとした。

③支部連絡窓口については、連絡漏れがないよう、崎山副会長に集約して一本化する。

2. 次回の役員会

第 3 回役員会は、平成 25 年 10 月 11 日(金)14 時からシーサイドホテルにて開催する。

【平成 25 年度役員の名担当業務】

会長	法安 忠美	
副会長	大場 省平	会報編集長
副会長	崎山 隆	支部連絡担当(事務局支援)
副会長	菅原 和夫	渉外・研修担当、ホームページ担当 「ハイキングの会・デジカメの会担当」
副会長	本田 太作	中部支部長
副会長	金重 寛	九州支部長
副会長	上中 健	阪神支部長
理事	松原 繁弘	福祉・レクレーション担当 「中央懇親会担当」
理事	松本 晃雄	渉外・研修担当、会員増強担当
理事	濱田 治	事務局支援担当、会員増強担当 「ゴルフの会担当」
理事	松崎 繁行	九州支部事務局長
理事	奥田 賢治	中部支部事務局長
理事	富田 昌	阪神支部事務局長
理事	平野 昌明	北海道・東北地域担当
理事	大和田 輝彦	事務局長兼会計担当
監事	長谷川 英夫	会計監査

25 年度春季ゴルフコンペ開催 林 憲男さん優勝

平成 25 年 5 月 15 日(水)クリアビュー CC に於いて恒例のゴルフコンペが開催されました。

当日は、うす曇りで爽やかな風が吹き絶好のゴルフ日和に恵まれて、全員元気よく熱戦が繰り広げられました。

今回は、腰痛等の体調不良による欠席者が相次ぎ、3 組 11 名参加の少々寂しいコンペとなりました。

そういう中で、グランドシニアのベテラン勢が揃った第 2 組の林さん、沖本さん、福田さん、山形さんのパーティーが日頃の実力を発揮し、林憲男さんが優勝、沖本良平さんが準優勝、山形剛士さんがベストグロ賞、福田さんが水平賞を獲得するなど、ドラコン賞を含めて賞品を総取りする勢いでした。

参加された方々と入賞された方は次のとおりです。

「参加者（スタート順・敬称略）」

- 1組 阿部正一・足助 正・濱田 治・米丸康文
- 2組 林 憲男・沖本良平・福田嘉信・山形剛士
- 3組 加藤恒男・黒田繁雄・菅原志郎

「入賞された方（敬称略）」

順位	氏名	グロス	ハンディ	ネット	その他
優勝	林 憲男	91	25	66	DC
二位	沖本良平	95	26	69	DC
三位	加藤恒男	100	30	70	

「優勝された林 憲男さんの喜びの声」

社友会のみなさんお元気ですか。平成25年5月15日(水)の社友会ゴルフにおいて、栄えある優勝を果たすことが出来ました。若葉青葉を渡る風も快いゴルフ日和に恵まれ、何時ものゴルフ仲間、沖本さん(今回準優勝)、福田さん(今回水平賞)と前回優勝者の山形さん(今回BG賞と楽しくラウンド出来たのが良かったのではと感謝しています。

今回優勝のもう一つの理由は、80歳以上は「赤ティ」を使用することができたことです。飛距離の落ちた老ゴルファーにとっては、幹事様のお計らいで助かりました。これからもエージシューターを目指して頑張る心算です。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

退社後も趣味を通じて元気な皆さんとお会い出来るのは有り難いことです。事務局、幹事のご尽力に御礼申し上げます。有難うございました。



「事務局より」

今回は、大ベテランが活躍されたコンペとなりました。次回(秋季大会)の開催は平成25年10月16日(水)を予定しております。若手(?)も頑張ってベテランに挑戦しましょう。

計画ができましたら事前にご案内いたしますので、奮っての参加をお待ち申し上げます。

<レポート濱田 治さん>

遠山栄助さん、通信士としてご活躍
「元東海支店の支店長で退職」

東海衛星サービスセンターを最後に退職しました遠山です。
冷やかして運輸省に通信士の求職をしていたところ



「是非に」ということで昨年10月1日に乗船しました。1999年GMDSSへの完全移行により、海上での通信士の職は無くなったと思い込んでいましたので驚きです。韓国、中国航路で

航海士が無線の資格を保有しない場合、通信士を乗船させているようです。

GMDSSに移行してからは、新たに通信士として乗船した人はいないようで、私のように37年ぶり(26歳で電電公社に入る前、東南アジア航路に乗船していました。)に乗船する者でも欲しいという状況です。

本船、幸鶴丸は曳船で320トンです。本船は小さいですが大きな荷物を引っ張るエンジンを持っています。

牽引ロープを500mぐらい伸ばして引っ張りますので、巨大船なみの操船が必要です。

私の仕事は、入出港時の税関手続き、船の動静連絡のメール送信、船員雇入・止手続き、勤務表及び船用金管理です。

以前は、モールズ通信で船の動静を連絡していましたが、現在はメールです。実に簡単です。通信士でなくてもメールを扱える人は誰でも出来ます。また、遭難・緊急・安全信号の受信もすべて機械が受信し、プリントアウトします。受信機の前に座って耳で受信する



必要はありません。新聞、天気図の受信もしません。本当に通信士は不要になっていて肩身の狭い思いをしています。それでも採用してもらっているのが図々しく居座っているところです。

最近、食事のお手伝い等をさせてもらって船での存在感をUPしているところです。

航路は、瀬戸内と旅順の定期航路ということでしたが実際は半年で2回、旅順に行っただけです。

旅順までは約4日です。旅順では久しぶりに船員の遊びをさせてもらいました。1万円あれば豪遊できます。同じ遊びでも大連に行けば、4~5倍遊べるそうです。

遊びはさておき、穏やかな海の航海中は最高に幸せを感じます。自室のベットから月が見える夜は、部屋を暗くしてお月見としゃれ込んでいます。ドコモ勤務では味わえない感動です。

通信士不要論が高まる中ですが、健康な間はもう少し海上での生活を楽しもうと思っています。

Facebookとかtwitter(Kinshirou3)で情報を発信していますので、お時間のある方は覗いて下さい。

<レポート遠山栄助さん>

次号には、中部支部の下呂温泉旅行を掲載します。